

大阪市立

光陽

特別支援学校

タイトル(テーマ)

入院中に学校からのビデオレターで交流!

光陽 No 2 号

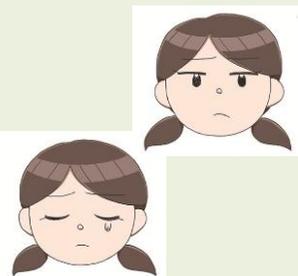
平成
年 月 日

対象の児童生徒

病弱部 小・中学 部 全学 年

困り感

・病気等で入院している児童生徒は、学校と離れることにより、学習に遅れがでたり、クラスの仲間から取り残されるといった不安感が高まる。



取り組みの内容・授業の様子等

クラスメートからのメッセージや学校の授業の様子をビデオに撮ったもの(DVD)を入院中の児童生徒に届けることにより、クラスの児童生徒との交流や、学校の授業を受けることができる。

- ・DVDプレイヤーにより病室で見ることが可能。
- ・好きな時間に何回も再生可能。
- ・クラスメートからのメッセージ「がんばれ!〇〇さん!」などにより、大きな励みとなる。



がんばれ!〇〇さん!
ひとりじゃないよ!
みんな待ってるよ!

早く退院して
みんなに会
いたいよ!



成果と今後の課題

【成果】 クラスの友達からのメッセージを聞いたり、授業を受けることにより、早く退院して復学したいという意欲につながる。

【課題】 Web会議システムと比べると、リアルタイムでないため同じ時間を共有しているという実感は得られない。